



すっかり秋らしくなりました。しかし、朝晩の気温差が大きく、体調をくずす人も多いようです。昼間は体育や外遊びで汗をかきますが、冷たい風がふくと寒く感じます。脱ぎ着しやすい上着を着るなど、うまく衣服の調節をして、体が冷えないように気を付けましょう。

マイコプラズマ肺炎に注意！



1年生でマイコプラズマ肺炎にかかる人が増えています。気になる症状がみられたら、必ずかかりつけ医に受診・相談してください。

どんな症状？	せき、発熱、頭痛などのかぜ症状がゆっくり進行し、咳はしだいに激しくなる。しつこい咳が3～4週間続く場合もある。重症例では呼吸困難になることもある。治療は適切な抗菌薬で行う。
どうやって感染するの？	①飛沫感染（咳やくしゃみ、唾が飛んで、他の人の目や鼻や口から細菌やウイルスが体内に入ってうつること） ②接触感染（細菌やウイルスが手につき、その手で目や鼻や口を触ることで体内に入ってうつること）
予防するには？	ワクチンはないため、飛沫感染としての一般的な予防方法を励行する。具体的には、①てあらい②うがい③マスクの着用など



知っていますか？せきエチケット（お子さんと一緒に練習してみてください）

くしゃみやせきの中には、ウイルスがいっぱい！これでは人にうつしてしまいます。



①くしゃみやせきが出ている時は、マスクをつける。



②急にくしゃみやせきが出た時は、ティッシュやハンカチで口や鼻をおさえる。



③マスクやハンカチやティッシュがないときは、上着の内側でおさえる。手でおさえると手にウイルスがついてしまうよ！手についた時は石けんで洗おう。

インフルエンザ、感染性胃腸炎が流行する季節です。

関東では先月よりインフルエンザの流行が始まりました。校内では感染拡大防止のためマスクの配布やアルコール手消毒液の活用等、対策をしています。流行時は毎朝検温して体調の変化に気を付けるなど、御家庭の御協力もお願いします。

◆家を出る前の健康観察について

ノロウイルスやインフルエンザは、早めの受診、対応が必要です。顔色や食欲など、朝必ずお子さんの健康観察をお願いします。特に、感染性胃腸炎の主症状「腹痛、下痢、おう吐」、インフルエンザの主症状「熱、寒気、関節の痛み」などがある場合は、医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。



◆欠席の連絡について

感染症が流行しやすいこの時期は、校内の感染症の流行状況を把握し、迅速な対応を行う必要があります。そのため、体調不良等で欠席をする際には、どんな症状や状態か、具体的に御連絡をお願いします。

例) かぜ → ○せき、鼻水
体調不良 → ○腹痛、下痢、吐き気
熱 → ○熱 37.8度

◆給食当番について

感染性胃腸炎の主な原因菌であるノロウイルスは、感染力が強いのが特徴です。下痢等の症状がなくなった後もしばらく、便の中にはウイルスの排泄が続きます。そのため、腹痛や下痢等の症状がある時には給食当番はできません。症状がある場合には、必ず連絡帳等でお知らせください。

校内での流行を防止するため、御理解と御協力をお願いします。

トイレ後の石けんによる手あらいの徹底についても、御家庭でも御指導ください。

◆緊急連絡先について

連絡先が変わった場合には、新しい連絡先をすみやかに担任までお知らせください。保護者の方と連絡がとれなくて大変困ることがあります。また、緊急連絡時の携帯電話等についても、すぐに連絡がつく状態にしておいてください。



◆おもな感染症の出席停止期間について※登校再開の際、治癒証明書等は必要ありません

インフルエンザ…発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで

感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)…病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

マイコプラズマ肺炎…病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

◆マスクの着用について

せきやくしゃみ、のどの痛みがある場合は、御家庭からマスクを着用して登校するようお願いします。症状を緩和させる効果があるだけでなく、校内での感染を防ぐこともできます。御理解と御協力をお願いいたします。

